

福生市子ども読書活動推進計画(第五次) 【案】



基本理念

△ I 基本的な考え方 4

- 1 計画の目的 4
- 2 計画の位置付け 4
- 3 計画の期間 5
- 4 計画の対象 5

△ II 計画策定の背景 6

- 1 国や都の動向 6
- 2 データからみる福生市の現状 10
- 3 第四次福生市子ども読書活動推進計画における取組状況 12
- 4 計画策定に向けたアンケート調査結果 16
- 5 計画策定に向けた現状と課題 18

△ III 計画推進のための取組 22

- 1 福生市子ども読書活動推進計画（第五次）の体系 22
- 2 具体的な取組 24
 - 取組の方向性1 乳幼児の読書活動の推進 24
 - 取組の方向性2 小・中学生の読書活動の推進 27
 - 取組の方向性3 ヤングアダルトの読書活動の推進 30
 - 取組の方向性4 多様な子どもへの読書環境の整備 33
 - 取組の方向性5 読書活動推進の基盤づくり 35

△ IV 取組一覧 38



子どもは、本を読むことで言葉を学び、物語を楽しむことで登場人物に感情移入し、いろいろな世界や人々の考え方・感じ方に触れることで表現力や創造力を豊かにし、新しい世界への興味や関心を高めていきます。本のページをめくる先には、子どもが開く新たな世界の扉につながります。

本計画では、子どもが幼少期から多くの本と出会い、心が動く経験を通して自らの世界を広げ、人生をより深く生きる力を身に付けるとともに、豊かな人生を生きることをめざし、以下の基本理念を掲げて、取組を推進していきます。

めくる先 1ページから 世界がはじまる





1

計画の目的

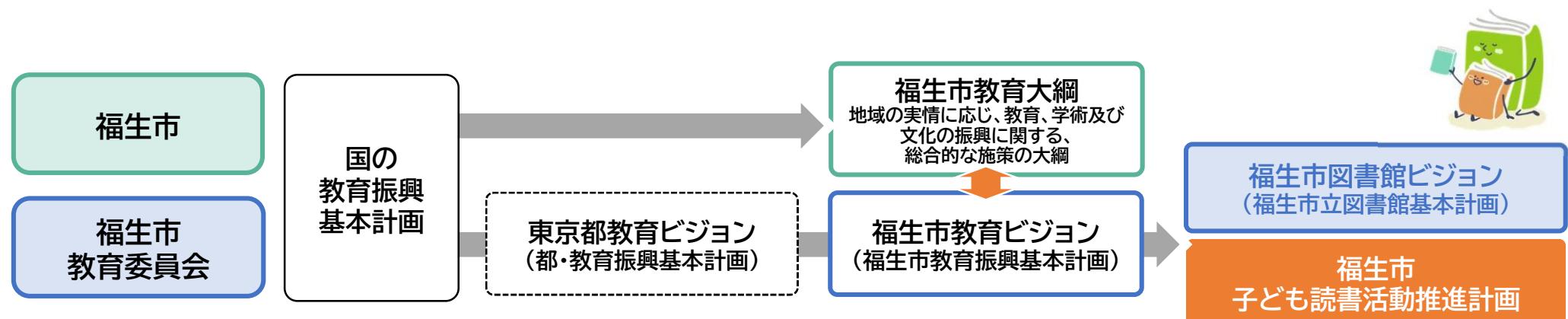
市では、平成16年度に「福生市子ども読書活動推進計画」を策定以降、平成22年度に第二次、平成27年度に第三次、そして令和3年度から令和7年度の5年間を計画期間とする「第四次福生市子ども読書活動推進計画」を策定し、学校・家庭・地域等と連携を図りながら、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

今回、令和7年度をもって第四次計画の期間が終了することに伴い、これまでの取組の現状と課題を精査し、課題に応じた新たな取組を加えて「福生市子ども読書活動推進計画(第五次)」を策定することとします。

2

計画の位置付け

- 本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条に基づく「市町村子ども読書活動推進計画」です。
- 国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び都の「第四次東京都子供読書活動推進計画」を踏まえて、計画を策定・推進します。
- 「福生市教育ビジョン2025-2029」、「福生市図書館ビジョン2025-2034」等、関連計画との整合性を図り策定します。



3

計画の期間

👉 計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間です。

	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
福生市子ども読書活動推進計画										
福生市図書館ビジョン										
福生市教育ビジョン										

4

計画の対象

👉 計画の対象は、0歳からおおむね18歳までとします。



Ⅱ 計画策定の背景



1

国や都の動向



第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画【令和5年度～令和9年度】



子どもの読書活動の現状

不読率の状況



- 不読率の状況は、いずれの学校段階でも数値目標を達成していない

新型コロナウイルスの感染拡大

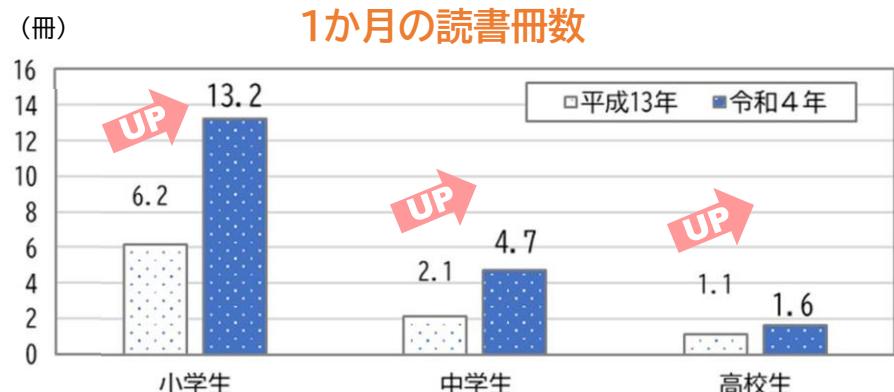
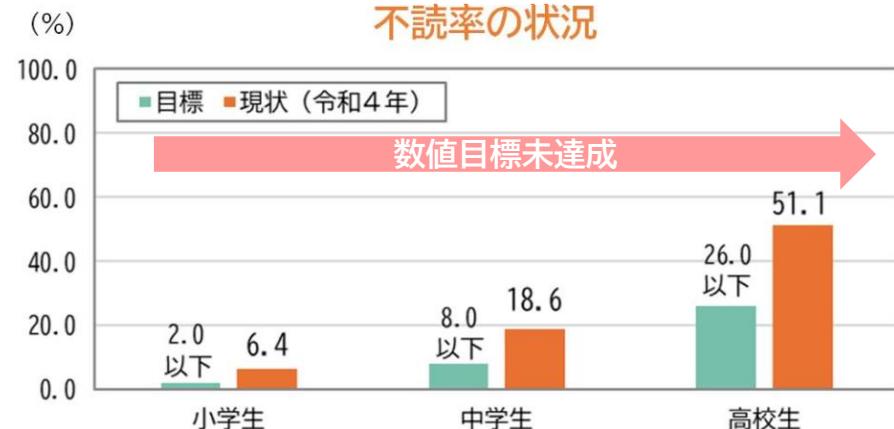


- 各学校の臨時休業、図書館の臨時休館により、図書館へのアクセスがしにくい状況が影響を与えた可能性がある

読書量・読解力の現状



- 1か月の読書冊数は、いずれの学校段階でも平成13年に比べて増加している





基本の方針

急激に変化する時代において、必要とされる資質・能力を育む上で、読解力や想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進は不可欠であり、全ての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられるよう、以下の点を考慮し社会全体で子どもの読書活動を推進する。

不読率の低減

- 就学前からの読み聞かせの促進
- 高校生の探求的な学習活動等での図書館等の活用促進

多様な子どもたちの読書機会の確保

- 多様な子ども(障がいのある・日本語指導を必要とする子ども等)の可能性を引き出すための読書環境の整備

デジタル社会に対応した読書環境の整備

- GIGAスクール構想等の進展等を踏まえた言語・情報活用能力等を育む
- 図書館及び学校図書館等のDX推進

子どもの視点に立った読書活動の推進

- 子どもの意見聴取の機会を確保し、取組に反映させる

国

- ICTを活用した取組等について調査を通じた実態把握・分析
- 地方公共団体・図書館・学校図書館等の運営の参考となる資料等を全国に共有

都道府県

- 都道府県立図書館を活用した市町村への支援
- 域内市町村への助言、取組・施策の紹介
- 高校生等に着目した関連施策の実施

市町村

- 市町村推進計画策定率の
数値目標
市:100% 町村:80%以上

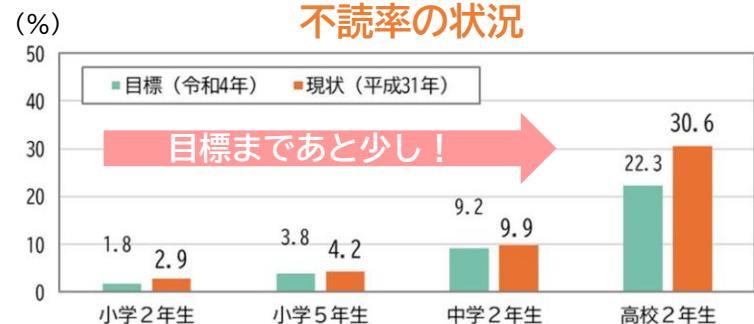


第四次東京都子供読書活動推進計画【令和3年度から令和7年度】

これまでの成果と課題

不読率の更なる改善(平成31年度までに平成25年度の3割減(平成35年度までに半減))

- 小・中学生では、目標値との差が僅差となった
- ・高校生の不読率が依然高い



読書の質の向上(読む本の質の向上、及び読書に主体的に関わる態度の育成)

- 図書館、学校等において読書の質を高める様々な取組を実施

- 読書への意欲や関心を高めるような働きかけが引き続き必要

読書環境の整備(区市町村での子供読書活動推進計画の策定の推進及び読書活動を支える人材の育成)

- 区市での計画策定率は98%となり、ほとんどの自治体で計画的な取組が実施されている
- 都立図書館等で、読み聞かせボランティアを育成するための支援等の取組を推進

- 学校では“読み聞かせ、ブックトーク等のノウハウ”、区市町村(図書館)では“ボランティア等の育成、活用”等が課題と認識





第四次計画の基本的な考え方

学校(園)、図書館、家庭・地域、行政が連携して都内の子供の読書環境を整え、子供の主体的・自発的な読書活動を、その発達段階に応じて推進していく。



1 乳幼児期からの読書習慣の形成

- 不読率の更なる改善(令和7年度までに平成25年度からの半減を目指す)
- 区市町村での計画策定(令和7年度までに都内全ての自治体で計画策定を目指す)



2 学習の基盤となる資質・能力の育成のための読書活動の推進

- 学校全体での読書活動、学校図書館活用の推進、学習活動における学校図書館の利活用の推進を目指す



3 特別な配慮を必要とする子供の読書環境整備の推進

- 読書バリアフリー法の施行を踏まえ、障害の有無にかかわらず全ての子供が等しく読書をできるよう、読書環境の整備の更なる推進を目指す
- 日本語を母語としない子供、帰国・外国人児童生徒等、多様なニーズに配慮する



4 読書の質の向上

- 「読書の幅の拡大」及び「読書に主体的に関わる態度の育成」を図ることを目指す

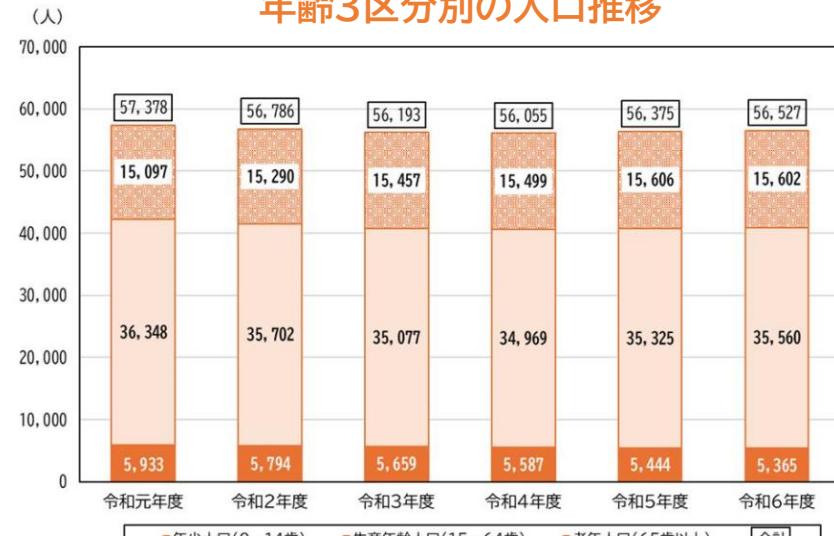


2

データからみる福生市の現状

人口・世帯の状況

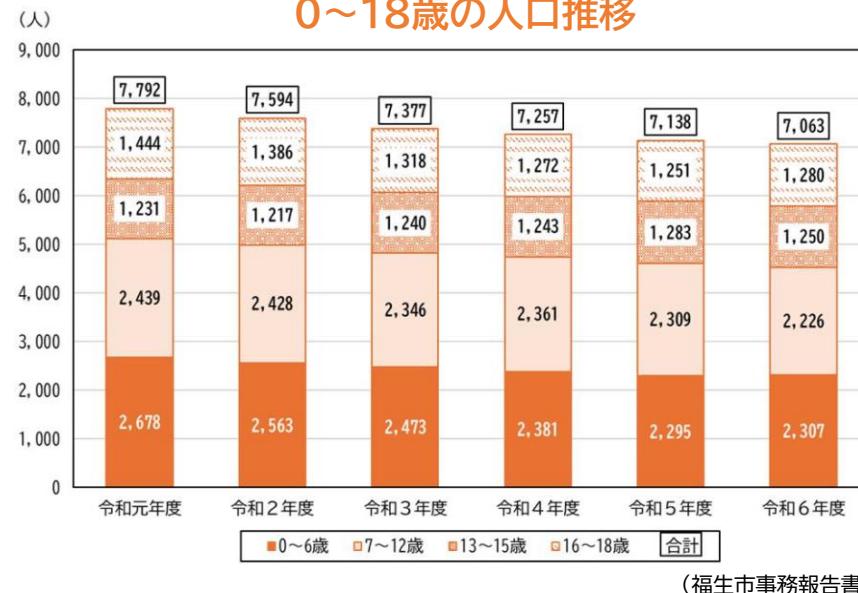
年齢3区分別的人口推移



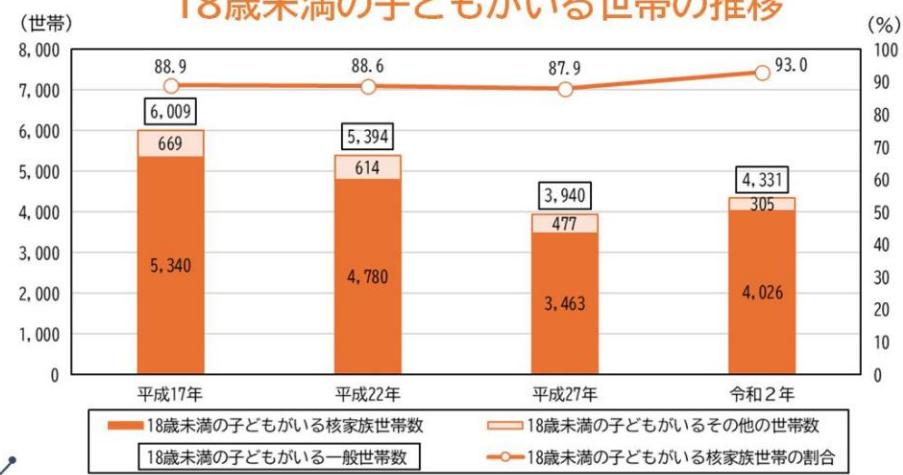
- ・総人口は令和4年度まで減少傾向で推移していましたが、令和5年度以降増加しています。
- ・一方、計画の対象となる0~18歳の人口推移をみると、令和元年度以降は一貫して減少傾向で推移しています。
- ・18歳未満の子どもがいる世帯数については、平成17年から令和2年までの15年間で、約7割に減少しています。



0~18歳の人口推移



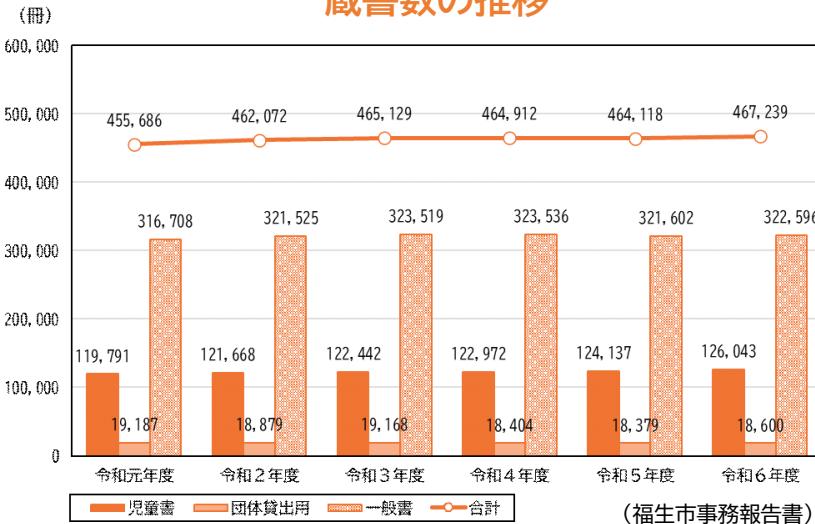
18歳未満の子どもがいる世帯の推移





市立図書館の状況

蔵書数の推移



ふっさ電子図書館利用状況

	電子書籍数	ログイン数	貸出数	閲覧数	予約数
令和5年度	11,033点	7,225人	4,735点	20,528回	2,264点
令和6年度	12,792点	21,427人	18,050点	52,041回	4,134点

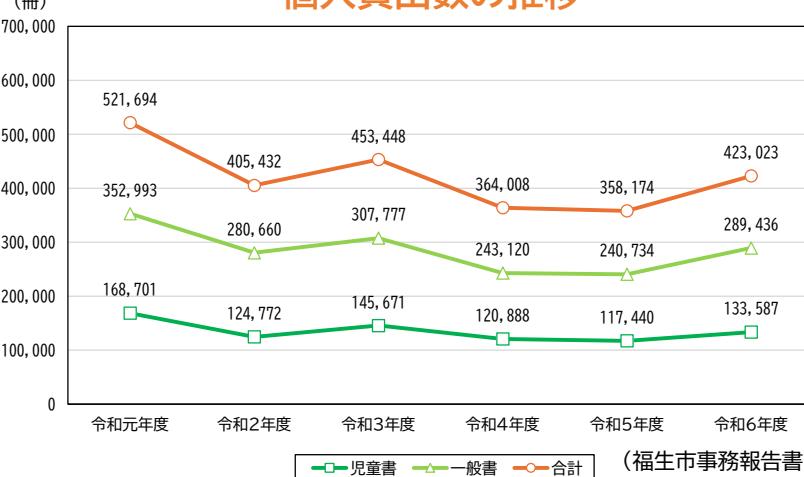
(福生市事務報告書)

POINT



令和6年1月より、インターネットを通じて電子書籍を読むことができる「ふっさ電子図書館」を開設しています。市内在住・在学・在勤の方が利用できます。

個人貸出数の推移



- 令和6年度の蔵書数は467,239冊で、令和元年度以降最も多くなっています。
- 電子書籍の貸出事業である「ふっさ電子図書館」では、図書館利用や読書に困難を抱えている方も利用可能です。また、市内小・中学校では児童・生徒にふっさ電子図書館の学校用IDを配布し、ICTを活用した読書の推進を図りました。
- 個人貸出数は、新型コロナウィルス感染症や中央図書館の大規模改修工事による休館の影響により減少傾向でしたが、令和6年度は増加に転じました。





3 第四次福生市子ども読書活動推進計画における取組状況

01

乳幼児(未就学児)を対象とした取組

成果

- 乳幼児が本に触れるきっかけづくりとして、ブックスタートの取組を推進しました。
- さまざまな施設で読み聞かせ・おはなし会の実施や、本を設置することで、本に親しむ環境づくりを推進しました。

出前おはなし会の様子



課題

- 家庭への働きかけについて、方法の検討が必要
- 広い地域で読み聞かせ活動を推進するための体制づくりについて検討が必要

02

小・中学生を対象とした取組

成果

- 学校や学童クラブ、ふっさつ子の広場等で図書を整備し、本に親しむ環境づくりを推進するとともに、小・中学生を対象とした読み聞かせ・おはなし会を実施しました。
- 「福生市の先生が選んだ100冊」を新たに発行しました。

福生市の先生が選んだ100冊



課題

- 読書への関心を高めるための取組(ブックトーク、ビブリオバトル等)を実施することが必要
- 読書の質を高める取組の実施により、将来への読書習慣につなげることが必要

03

青少年 (ヤングアダルト) を対象とした取組



成果

- ジュニア司書養成講座の開催やヤングアダルト向け新聞の発行など、子どもの視点からの読書活動を推進しました。
- 中央図書館では、ヤングアダルト課題解決コーナーとして、進学や就職、資格の取得についての本を収集しました。

課題

- 本や図書館を身近に感じてもらうための取組の検討が必要
- 教育施設と連携した活動の推進が必要

ジュニア司書養成講座の様子



04

特別な支援や配慮を 必要とする子どもを 対象とした取組



成果

- 特別支援学級の子どもや小児病棟に入院している子どもが本に触れる機会を得られるよう、様々な取組を実施しました。
- アクセシブルな電子書籍を貸出しするサービス「ふっさ電子図書館」を開設しました。

課題

- それぞれの状況にあった方法で読める電子書籍や点字図書等の活用のための情報発信が必要

りんごの棚



「りんごの棚」には、点字図書やLLブック
(やさしく読みやすい本) を置いています。





05 人材育成のための取組



成果

- 情報交換や資質の向上を目的とした会議・研修を実施し、人材育成を図りました。
- ボランティア養成講座の実施、読み聞かせ用品の貸出しを行い、おはなしボランティアの活動を推進しました。

課題

- 図書館の持続可能な運営を支えるため、専門的な知識とスキルを持つ人材の育成が必要
- 子どもの読書に係る様々な関係者による情報共有や連携が必要

ボランティア養成講座の様子



06 情報発信と啓発活動



成果

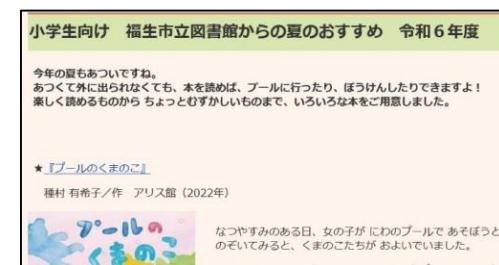
- 子どもの発達の段階に応じた啓発や、図書館ホームページの充実を図りました。

課題

- SNSを活用した効果的な情報発信の検討が必要



ヤングアダルトページ



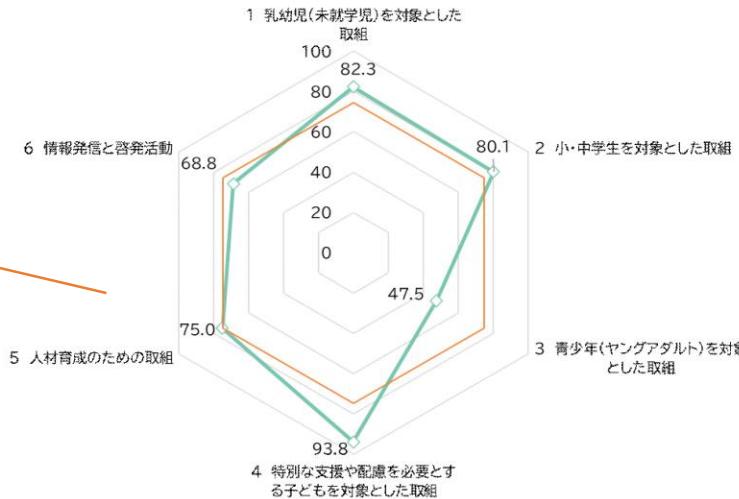
こどもページ（本の紹介）



進歩度評価の結果

進歩度

全体平均
74.6%



【担当課による自己評価の方法】

- A : 100% (事業目標達成)
- B : 75%程度 (ほぼ事業目標を達成)
- C : 50%程度 (半分程度事業目標を達成)
- D : 25%程度 (目標達成には程遠い)
- E : ほとんど手をつけていない

一方、児童・生徒からアンケート調査を行いおすすめ本を紹介した「ふっさっ子が選んだおすすめの本32冊」やジュニア司書養成講座の認定バッジの作成、児童・生徒へのふっさ電子図書館学校用IDの配布、ヤングアダルト向け利用案内ポスターの作成など、事業目標の推進として評価できる新しい取組もあり、概ね計画通りの進捗と評価できます。

新型コロナウイルス感染症や中央図書館の大規模改修工事による休館の影響で、推進事業の中には休止や方向性の検討を行い縮小した事業等もあり、令和6年度事業目標の進捗度は74.6%となりました。



ふっさっ子が選んだおすすめの本32冊



ヤングアダルト向け利用案内ポスター



ジュニア司書養成講座認定バッジ



ふっさ電子図書館学校用ID





4

計画策定に向けたアンケート調査結果

【調査期間】令和7年5月14日(水)～6月10日(火)

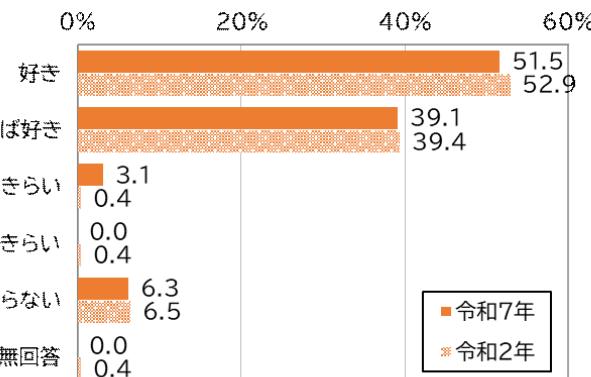
子どもの読書に関するアンケート



4歳児保護者調査



お子さんは本が好きですか？



お子さんが本を「好き」又は「どちらかといえば好き」と回答した人の割合は90.6%となり、令和2年と変わらず高い割合となっています。

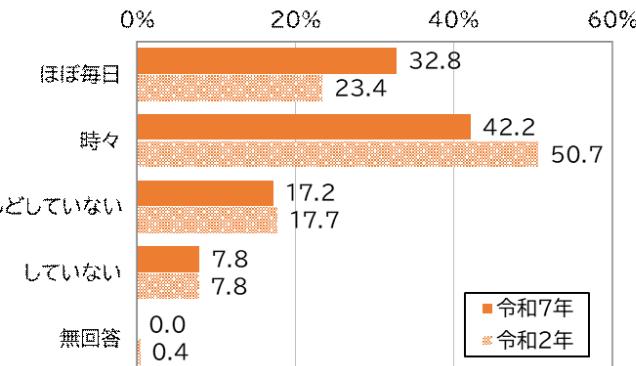
読書活動推進に関するアンケート



調査対象	配布数	回収数	回収率(%)
幼稚園・保育施設	18	18	100
小学校	7	7	100
中学校	3	3	100
高等学校(全日制・定時制を含む)	3	3	100
児童館・学童クラブ・ふっさっ子の広場	22	22	100



家庭でお子さんに読み聞かせをしていますか？



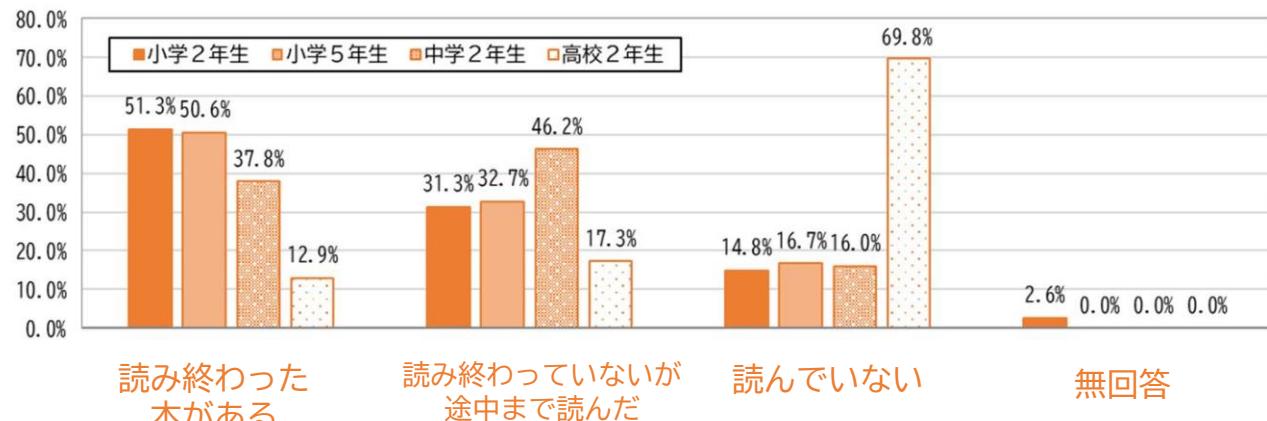
令和2年に比べて「ほぼ毎日」の割合が増加しています。なお、“お子さんは本が好きですか？”の問い合わせで“好き”と回答した人では、「ほぼ毎日」の割合が全体に比べて高い傾向がみられました。

※令和2年（前回調査）回答者数：231人

小学2・5年生、中学2年生、高校2年生調査



Q 最近1か月の間に本を読みましたか？

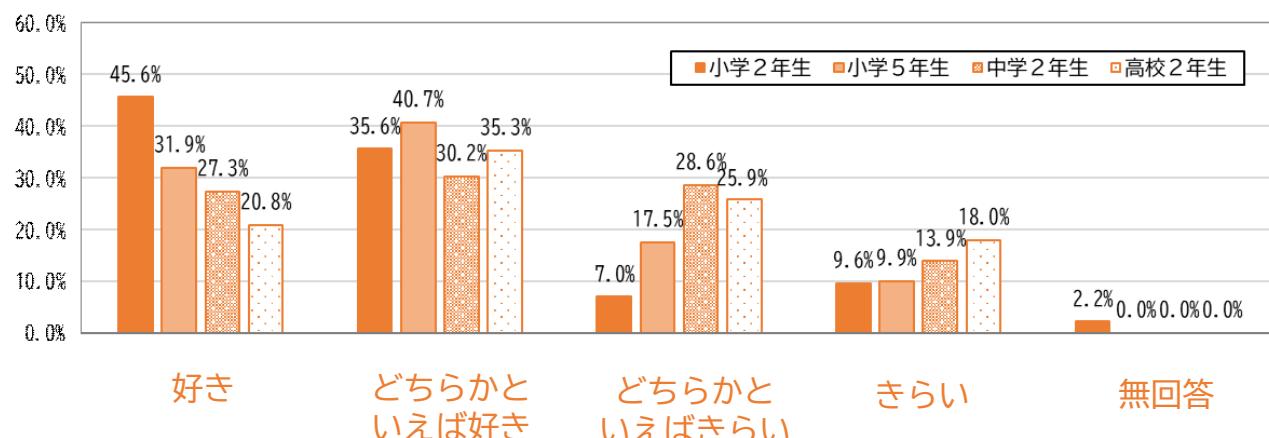


小・中学生では8割以上が“本を読んでいる”と回答しています。

一方、高校生の約7割は“読んでいない”と回答しており、国や都の状況と同じく、高校生の読書離れが課題となっています。



Q 本を読むことは好きですか？



「好き」又は「どちらかといえば好き」と回答した人は小学2年生では8割以上となっていますが、学年が上がるにつれて減少傾向がみられます。

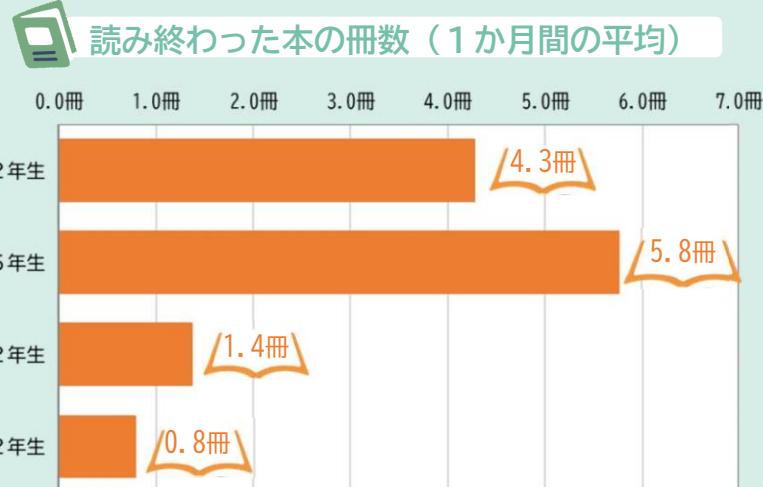




5

計画策定に向けた現状と課題

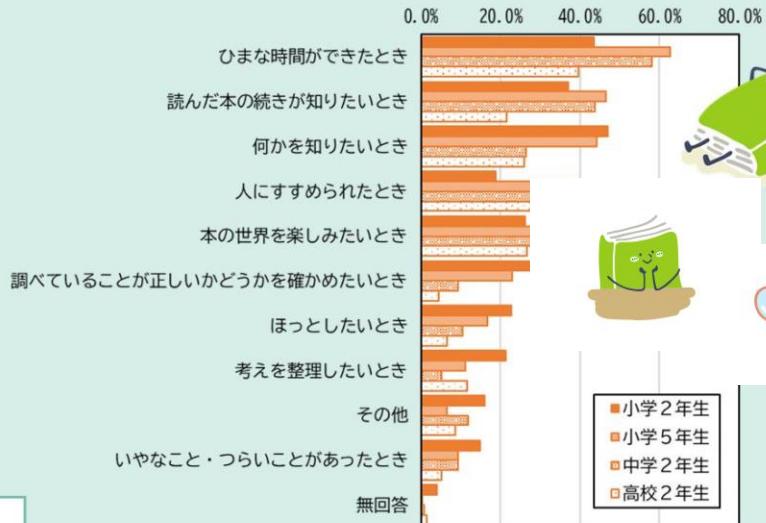
1 読書率のさらなる向上



- 読み終わった本の1か月間の平均冊数は小学5年生が最も多く、5.8冊となっています。
- 高校2年生は本を「読んでいない」と回答した人が69.8%とほかの学年に比べて多いことから、読み終わった本の冊数も少なくなっています。



本を読みたいと思うのはどんな時か



- 本を読みたいと思う時は、すべての学年で「ひまな時間ができたとき」が最も多くなっています。

(令和7年子どもの読書に関するアンケート調査)

POINT

- すべての子どもが読書機会を確保できるよう引き続き学校・家庭・地域での取組を推進し、読書率のさらなる向上に努める必要があります。読書習慣のある子どもには、より多くの本と出合うことのできるきっかけづくりも重要です。
- ゲームやスマートフォン等、時間の使い方に様々な選択肢がある環境のなかで、空いた時間で自ら本を読みたいと思う子どもが増えるよう、読書の楽しさの普及・啓発に努めることが必要です。

2. 学校図書館の整備推進



福生市における学校図書館整備の状況

学校図書館図書標準



学校図書館への新聞配備



学校司書の配置



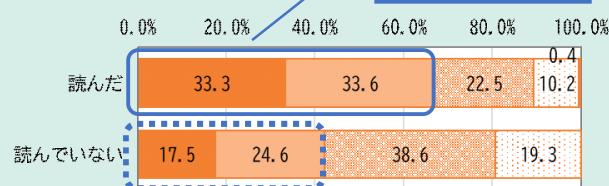
●国が設定する整備水準を概ね満たしており、計画的な整備が進んでいます。



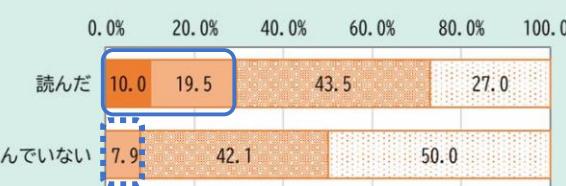
学校図書館の利用状況と読書率

小学5年生

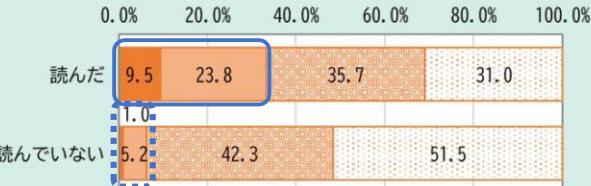
月1回以上



中学2年生



高校2年生



(令和7年子どもの読書に関するアンケート調査)

●1か月の間に本を“読んだ”と回答した児童・生徒ほど、学校図書館の利用頻度が高い様子がうかがえます。

POINT

- 引き続き、国の整備方針を踏まえた読書環境の計画的な整備を推進することが必要です。
- 読書率の向上に向けて、子どものニーズに合わせた学校図書館のさらなる充実を図ることで、利用しやすい環境を整備することが重要です。

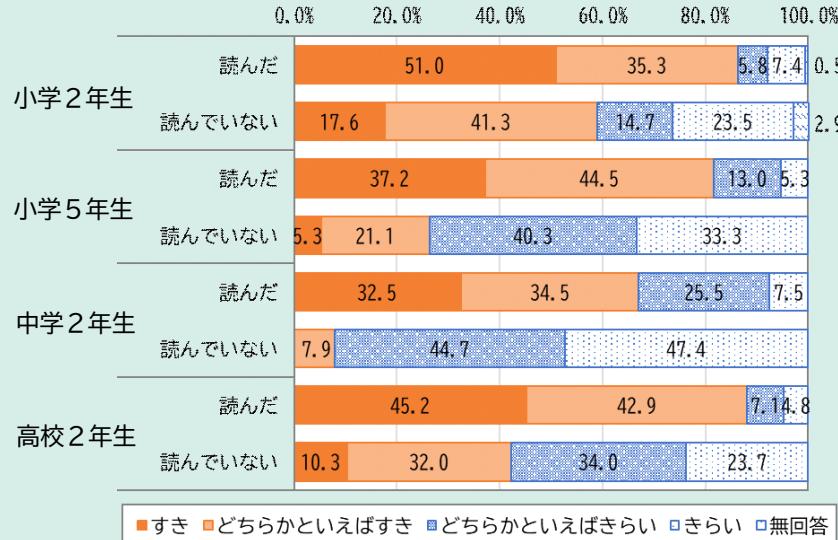


3

家庭における読書活動の推進



本を読んでいる子は読書が好きかどうか



- 1ヶ月の間に本を“読んだ”と回答した児童・生徒ほど、読書が“好き”の割合が高くなっています。
- 小学2年生では“読んでいない”と回答した児童・生徒のうち、半数以上は読書が“好き”と回答しています。

POINT

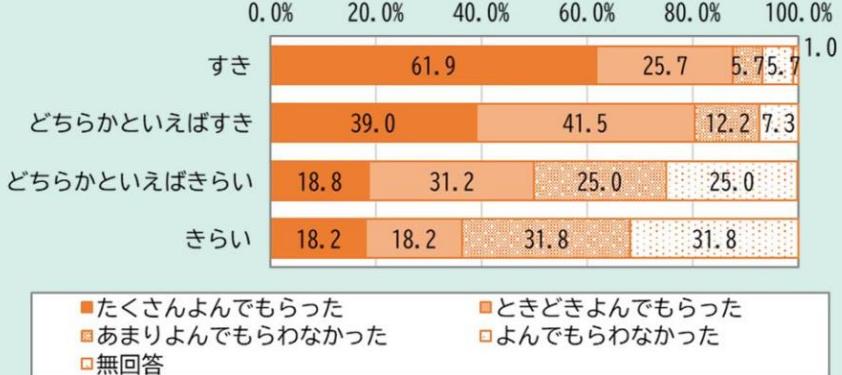
- 読書が好きな子ほど、読書率が高いことが顕著に表れています。読み聞かせをたくさんしてもらった子ほど本好きな傾向がみられることからも、幼い時から家庭で本に親しむことができる環境づくりの支援が重要です。
- 読書が好きなのに“読んでいない”子どもには、それぞれの環境に合わせた支援を推進する必要があります。



本が好きな子の特徴



小学2年生



- 小学2年生調査では、本が“すき”と回答した児童ほど、おうちの人に本を“たくさんよんでもらった”と回答した人の割合が高くなっています。

(令和7年子どもの読書に関するアンケート調査)

4

デジタル社会に対応した読書環境の整備

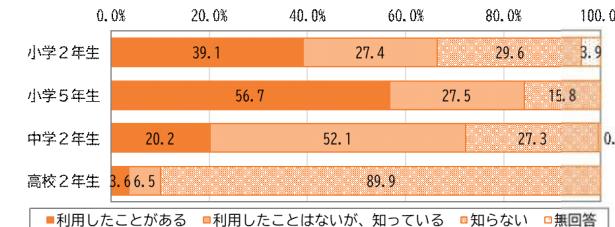


電子書籍による読書の状況

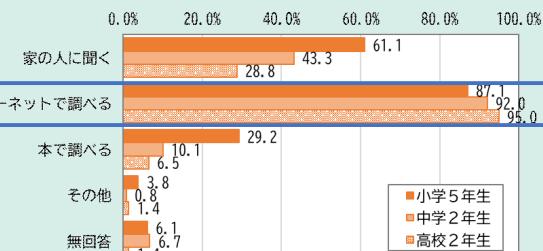


- 小学5年生と高校2年生の6割以上がタブレットやスマートフォン等で本を“読んだことがある”と回答しており、子どもの間で電子書籍による読書が浸透してきている様子がうかがえます。

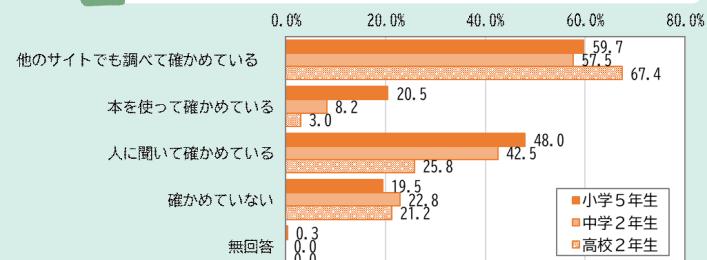
～参考～「ふっさ電子図書館」の認知度



調べものをする時の方



調べた内容を確かめているか



- 調べものをする方法は、すべての学年で「インターネットで調べる」が約9割を占めています。
- インターネットで調べた内容は、すべての学年で「他のサイトでも調べて確かめている」が最も高くなっています。

(令和7年子どもの読書に関するアンケート調査)

POINT

- 電子書籍がこれまで以上に子どもの身近なものとなるなかで、紙の本による読書の推進と合わせて、ICT端末やデジタル技術の活用等、デジタル社会に対応した読書環境の整備が必要です。
- 子どもがインターネットを主な情報源として活用している状況を踏まえ、インターネットを活用した情報発信を強化とともに、子どもの情報リテラシー習得・向上への支援を強化することが重要です。

III 計画推進のための取組



1 福生市子ども読書活動推進計画(第五次)の体系

3つの「基本目標」 5つの「取組の方向性」 15の「主な取組」

01

発達の段階に応じた 読書活動の推進



幼少期からの楽しい読書体験や、読書への関心を高める取組等を通して、発達の段階に応じた読書習慣の形成を図ることで、読書率の向上を目指します。



読書率の向上を目指す



1か月の間に本を読んだ子の割合

学年	割合
小2	82.6%
小5	83.3%
中2	84.0%
高2	30.2%

02

多様なニーズに応じた 読書環境の整備



ICTを活用しながら、子どもがより多くの本と出合う機会づくりに取り組むとともに、すべての子どもが等しく読書をすることができる環境の整備を図ります。



読書量の増加を目指す



1か月の間に読んだ本の冊数

学年	冊数
小2	4.3冊
小5	5.8冊
中2	1.4冊
高2	0.8冊

03

読書の質の向上



子どもが読書に喜びを感じたり、目的をもって本を読み、読書を通じて考えを深め、自分の言葉で相手に伝えることができるよう、主体的に読書に関わることのできる力（読書力）の育成を目指します。



読書好きな子を増やす



読書が好きと回答した子の割合

学年	割合
小2	81.2%
小5	72.6%
中2	57.5%
高2	56.1%

(参考値：令和7年子どもの読書に関するアンケート調査)

3つの「基本目標」 5つの「取組の方向性」 15の「主な取組」

取組の方向性1 乳幼児の読書活動の推進

- 1 家庭に向けた普及・啓発
- 2 絵本を身近なものにする
環境づくり
- 3 楽しい読書体験の推進

取組の方向性2 小・中学生の読書活動の推進

- 4 学校における読書活動の推進
- 5 自ら本を手に取る機会づくり
- 6 読書への興味・関心を高める
読書体験の推進
- 7 自主的な学びの支援

取組の方向性3 ヤングアダルトの読書活動の推進

- 8 世代に合わせた読書活動の推進
- 9 将来にわたる読書のための
環境づくり
- 10 課題解決への支援

取組の方向性4 多様な子どもへの読書環境の整備

- 11 多様なニーズに合わせた資料
の充実
- 12 多様な子どもへのサービスの
充実

取組の方向性5 読書活動推進の基盤づくり

- 13 デジタル社会に対応した
読書環境の充実
- 14 情報発信と広報活動
- 15 読書活動を支える体制づくり



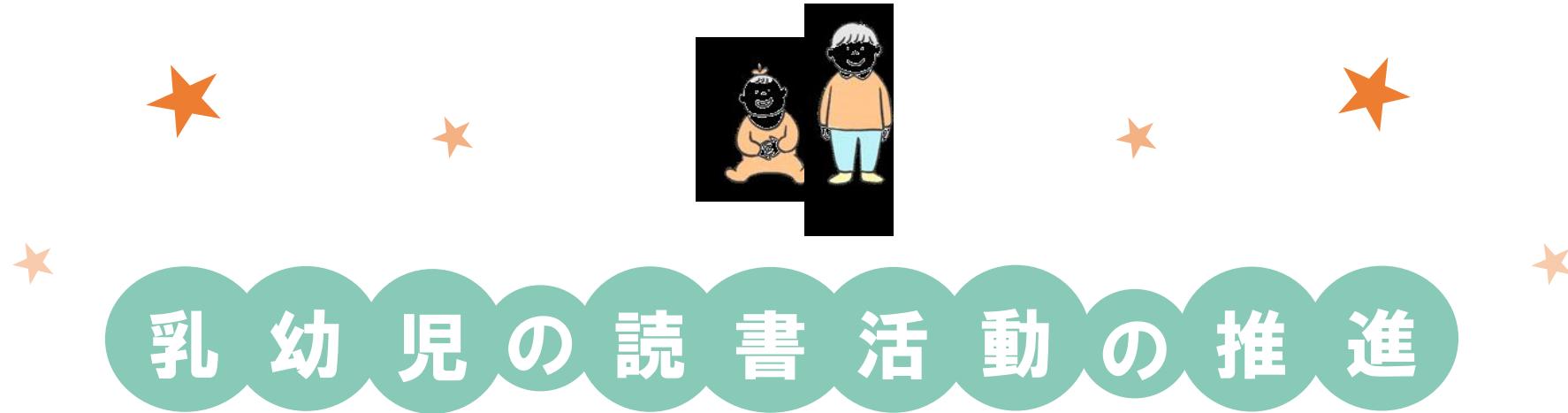
「主な取組」ごとの数値目標は、計画期間の目標値として設定しています。



2

具体的な取組

取組の方向性 1



乳幼児期から生活の中で本に親しむことや、楽しい読書体験を重ねることは、生涯にわたる読書習慣の形成のためにとても大切です。また、読み聞かせにより、絵本を通じて子どもと保護者が温かなコミュニケーションをとることが、子どもの豊かな心の育成にもつながります。

より多くの子どもが乳幼児期から読書の楽しさに触れることができるよう、家庭や地域への支援を行います。

主な取組



1 家庭に向けた普及・啓発

▶ 乳幼児の保護者を対象に、本や読書に関するイベントの実施などを行い、家庭での読書の大切さについて発信します。また、関係部署と連携し、赤ちゃんはじめての絵本事業を推進します。

事業

- 保護者に向けた本や読書に関する講座・イベントの開催
- 絵本情報の発信
- 家庭で読書の楽しさを共有する取組の実施
- ブックスタートの実施

数値目標

絵本の読み聞かせ実施回数
「赤ちゃんはじめての絵本事業※」



現状

12回



目標

12回

※子ども政策課、こども家庭センター課、図書館の3課で連携し、3か月・4か月健診時に絵本を贈呈、ボランティアによる読み聞かせを行う事業

出前講座①



出前講座②



乳幼児向けおすすめ本冊子





2

絵本を身近なものにする環境づくり



► 子どもが自ら本を取り、読書に親しめるよう、身近な施設に本を整備します。乳幼児向け図書の団体貸出を推進します。また、図書館に子どもが訪れやすくなる工夫として、子育て世代が利用しやすい環境づくりや魅力的なイベントの実施に努めます。

事業

- 市内施設、幼稚園・保育施設における絵本等の提供の場の充実
- 利用しやすい図書館づくり
- イベントの実施

数値目標

乳幼児向け図書の団体貸出施設数



現状

5施設



目標

10施設

団体貸出図書



3

楽しい読書体験の推進



► 子どもが本の世界や読書の楽しさに触れ、これからの読書習慣の基盤となるよう、市内施設、幼稚園・保育施設での読み聞かせやおはなし会を推進します。

事業

- 読み聞かせ・おはなし会の実施

数値目標

乳幼児向け出前おはなし会の実施回数



現状

17回



目標

20回

図書館招待おはなし会



取組の方向性 2



小・中学生の読書活動の推進

本を読むのは“ひまな時間ができたとき”という子どもが多い中、空いた時間で自ら進んで本を読みたいと思う子どもが増えるよう、本との出会いや読書の楽しさの普及・啓発を推進します。小・中学生の読書活動では学校図書館の役割も大変重要であり、すべての児童・生徒が読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるよう、適切な支援と環境整備を図ります。



主な取組



4

学校における読書活動の推進

- 子どもが多くの時間を過ごす場である学校において、読書習慣の形成のための働きかけを行います。学校司書を配置し、学校図書館の充実や調べ学習の支援等、学校図書館の利活用を図ります。また、図書館やボランティアと連携することで、計画的に読書活動を推進します。

事業

- 学校図書館の運営の充実
- 読書活動の推進

数値
目標

1か月間に、本を読んでいない児童・生徒の割合
(不読率) の減少



現状

前年比-2ポイント



目標

前年比-2ポイント



5

自ら本を手に取る機会づくり

- 子どもが自ら本を手に取る習慣づくりのため、本が身近にある環境の整備を支援し、ブックリスト等の配布を行います。また、図書館に子どもが訪れやすくなる工夫として、児童・生徒が利用しやすいよう館内の整備を行うとともに、興味を惹くようなイベント等を開催します。

事業

- 市内施設における本の提供の場の充実
- 利用しやすい図書館づくり
- イベントの実施
- 本情報の発信

数値
目標

テーマに沿って選んだ本のおすすめ本パックの
貸出件数



現状

未実施



目標

10件



一日図書館員



テラス席



6

読書への興味・関心を高める読書体験の推進

子どもが本の世界や読書の楽しさに触れ、これからの読書習慣の基盤となるよう、市内施設において読書への関心・興味を高める読み聞かせやおはなし会等を推進します。

事業

読み聞かせ・おはなし会等の実施

数値目標

出前おはなし会・ブックトーク等の実施回数



現状

1回



目標

5回

出前おはなし会 “ぶっくん”



7

自主的な学びの支援

情報社会において正しい情報を収集・発信できるよう、情報リテラシーの育成に努めます。また、情報の基盤となる本等資料から発展的に調べる大切さを伝えるとともに、調べ学習資料を提供します。

事業

課題解決への支援

数値目標

時代に即した調べものガイドの作成



現状

未作成



目標

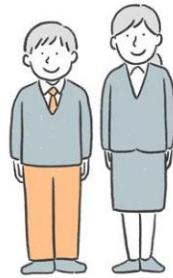
1回

読書・学習コーナー





取組の方向性 3



ヤングアダルトの読書活動の推進

全国的に、特に高校生世代の読書率の向上が課題となっています。本市においてもヤングアダルト世代の視点に立ちニーズに合わせた読書活動の推進を図ることで、それぞれの興味・関心に応じた読書ができるよう働きかけを行います。

主な取組



8 世代に合わせた読書活動の推進

読書に興味をもち読書習慣を形成するため、対話型読書活動など主体的に読書に関わる取組を行います。図書館を身近に感じるきっかけづくりとして、職場体験・ボランティア体験の受入れをします。また、高等学校と連携することで世代に向けた働きかけを推進します。

事業

- ❖ 子どもの視点に立った読書活動の実施
- ❖ 図書館業務体験の実施
- ❖ 学校に向けた働きかけの推進

数値目標

読書リーダー活動 参加人数



現状

39人



目標

50人

ブックトーク



読書リーダーの活動



図書館ホームページによる
職場体験をした中学生のおすすめ本紹介

職場体験をした中学生のおすすめ本

【2025年10月】
S & Dたまご一福生中央図書館で職場体験をした中学生からのおすすめ本を紹介します！

こんなときどうする？クイズで学べる！自然災害サバイバル

木原 実/監修 日本国書センター(2021年出版)
△S & Dたまご一福生中央図書館蔵



こんなときどうする？クイズで学べる！自然災害サバイバル

監修 木原実
日本国書センター

△書名もなかなか覚えておくのが大変ですが、この本はその点で非常に優れています。



9

将来にわたる読書のための環境づくり



▶ 大人への移行期であるヤングアダルト世代のニーズに応じた資料提供を行います。本をきっかけにした交流を促進するほか、興味を惹くようなイベント等を実施します。また、図書館に訪れるもらう工夫として、利用しやすい館内の整備を行います。

事業

- 利用しやすい図書館づくり
- イベントの実施
- 本情報の発信

数値目標

- ヤングアダルト交流イベントの実施



現状 未実施



目標

1回



ヤングアダルトコーナー



中高生向け
すいせん図書リスト
-ZANMAI-

10

課題解決への支援



▶ 情報社会において正しい情報を収集・発信できるよう、情報リテラシーの育成に努めます。また、情報の基盤となる本等資料から発展的に調べる大切さを伝えるとともに、調べ学習資料を提供します。

事業

- 課題解決に向けた資料収集・提供

数値目標

- 「ヤングアダルト課題解決コーナー」の展示回数



現状 1回



目標

2回

課題解決コーナー



取組の方向性 4



多様な子どもへの読書環境の整備

読書をするのに支援や配慮が必要な子どものニーズに応じた資料やサービスの充実を図ることで、すべての子どもが等しく読書に親しむことができる環境を整備します。



主な取組



11 多様なニーズに合わせた資料の充実

▶ 日本語以外を母国語としている、活字からの読書に困難があるなど、子どもに応じた多様な資料の充実を図ります。

事業

△ アクセシブルな資料の充実 △ 利用しやすい図書館づくり

数値目標

△ 「多文化コーナー」の所蔵冊数



現状

997冊



目標

1,050冊

多文化コーナー
がいこくのほん



12 多様な子どもへのサービスの充実

▶ 図書館の来館が困難な子どもに読書機会を提供するため、宅配や点字・音訳資料の郵送などのサービスを提供します。病院等関連施設へ団体図書の貸出しを行います。

事業

△ 読書機会の提供

数値目標

△ 関連施設への団体貸出冊数



現状

300冊



目標

400冊

取組の方向性 5



読書活動推進の基盤づくり

近年急速に発達し、子どもの身近なものとなっているICTを活用した読書環境の充実を図るとともに、より多くの子どもに読書の楽しさを伝えるための広報活動を推進します。また、子どもの読書活動のさらなる推進に向けて、読書活動を支える体制づくりを強化します。



主な取組



13 デジタル社会に対応した読書環境の充実

自宅でも利用ができるアクセシブルな電子書籍の提供や、ICTを活用した図書館サービスの利便性の向上を図るなど、読書環境の充実を図ります。

事業

- 電子書籍の提供
- ICTを活用した図書館サービスの利便性の向上

数値目標

ふっさ電子図書館閲覧数



現状

52,041回



目標

52,500回

ふっさ電子図書館



ふっさ電子図書館の情報発信-広報ふっさ-



14

情報発信と広報活動



子ども読書の日及び読書週間事業を推進し、読書の大切さを発信します。図書館に対する理解と関心を高め、利用を広げることを目的に広報活動を推進します。

事業

△ 情報発信と広報活動の推進

数値目標

△ 図書館ホームページ（こども・ヤングアダルトページ）のアクセス数



現状 16,000回



目標 20,000回

図書館ホームページによる
子ども向け図書館利用案内

15

読書活動を支える体制づくり



学校図書館やボランティアなどの読書活動を支える人材の育成を図ります。読書活動を行う個人・団体に対し、読み聞かせ用品の貸出しや読み聞かせ講座を実施するなど、地域の読書活動推進のための支援を行います。

事業

△ 学校図書館における人材育成
△ 図書館における専門性の向上△ 地域における人材育成
△ 市内施設等への図書配達

数値目標

△ 図書館おはなしボランティアが行った活動事業数



現状 15事業



目標 18事業

読み聞かせ用品



IV | 取組一覧



取組の方向性1 乳幼児の読書活動の推進

数値目標は、計画期間の目標値として設定しています。

①家庭に向けた普及・啓発

事業	内容	数値目標
保護者に向けた本や読書に関する講座・イベントの開催	保護者に向けた 乳幼児の本や読み聞かせの方法について伝える出前講座・イベントの開催	*絵本の読み聞かせ実施回数 「赤ちゃんはじめての絵本事業」 【現状】12回 ➔ 【目標】12回
絵本情報の発信	乳幼児向けのブックリスト「はじめのいっぽ」「すてっぷ」の配布等による、絵本情報の発信	
家庭で読書の楽しさを共有する取組の実施	乳幼児と保護者が、一緒に読書の楽しさを共有する取組の実施	
ブックスタートの実施	子ども政策課、こども家庭センター課、図書館の3課で連携し、3か月・4か月健診時に絵本を贈呈、ボランティアによる読み聞かせを行う「赤ちゃんはじめての絵本事業」の実施	

②絵本を身近なものにする環境づくり

事業	内容	数値目標
市内施設、幼稚園・保育施設における絵本等の提供の場の充実	こども家庭センター、児童館、子ども応援館（ふれあいひろば）、公民館、市役所、幼稚園・保育施設等への団体貸出の推進等による絵本等の提供の場の充実	*乳幼児向け図書の団体貸出施設数 【現状】5施設 ➔ 【目標】10施設
利用しやすい図書館づくり	乳幼児や保護者が安心して利用できる環境整備、図書館サービスの推進	
	「はじめのいっぽ」「すてっぷ」「読み聞かせ絵本」などニーズに沿った本を集めたコーナーの提供	
	おすすめの本や、季節ごとの絵本等の展示	
	特定のテーマに沿って選んだ本をセットにしたおすすめ本パック貸出しの実施	
イベントの実施	本に親しむ意欲を高めるためのイベントの実施	*乳幼児向け出前おはなし会の実施回数 【現状】17回 ➔ 【目標】20回
	本や図書館への興味・関心を高める絵本原画展の実施	
	幼稚園・保育施設の幼児に向けた図書館の施設見学やおはなし会などの体験を通した図書館への興味を高める取組（図書館見学・図書館招待）の実施	

③楽しい読書体験の推進

事業	内容	数値目標
読み聞かせ・おはなし会の実施	乳幼児おはなし会の定期的な実施	*乳幼児向け出前おはなし会の実施回数 【現状】17回 ➔ 【目標】20回
	こども家庭センター、児童館、子ども応援館（ふれあいひろば）等施設での読み聞かせ・おはなし会の実施	
	児童館、幼稚園・保育施設等に図書館職員や図書館おはなしボランティアが訪問する出前おはなし会の実施	

取組の方向性2 小・中学生の読書活動の推進

④学校における読書活動の推進		
事業	内容	数値目標
学校図書館の運営の充実	学校図書館での蔵書の充実や本の展示、授業支援等、学校司書の配置を通じた利用しやすい学校図書館の運営の充実	* 1か月間に、本を読んでいない児童・生徒の割合（不読率）の減少 【現状】前年比－2ポイント ➔ 【目標】前年比－2ポイント
	学校図書館と市立図書館間、または学校図書館間の学校図書館相互貸借事業の推進	
読書活動の推進	調べ学習指導、学校図書館の計画的な利用など、学習指導要領などに合わせた読書推進・指導	* 1か月間に、本を読んでいない児童・生徒の割合（不読率）の減少 【現状】前年比－2ポイント ➔ 【目標】前年比－2ポイント
	朝読書活動や学級文庫の充実、本の紹介等、読書への意欲を高める取組の推進	
	図書館見学・図書館招待の実施	
	図書委員会活動の充実	
	ふっさ電子図書館の活用の推進	
⑤自ら本を手に取る機会づくり		
事業	内容	数値目標
市内施設における本の提供の場の充実	学童クラブ、ふっさっ子の広場等への団体貸出の推進等による本の提供の場の充実	* テーマに沿って選んだ本のおすすめ本パックの貸出件数 【現状】未実施 ➔ 【目標】10件
利用しやすい図書館づくり	おすすめの本、季節ごとの絵本、読み物等の展示	
	「すいせん図書」「読み聞かせ絵本」などニーズに沿った本を集めたコーナーの提供	
イベントの実施	子どもが自ら進んで本に親しむ意欲を高めるためのイベントの実施	
	小学生が図書館員の仕事を体験する一日図書館員の実施	
	本や図書館への興味・関心を高める絵本原画展の実施	
本情報の発信	特定のテーマに沿って選んだ本をセットにしたおすすめ本パック貸出しの実施	* テーマに沿って選んだ本のおすすめ本パックの貸出件数 【現状】未実施 ➔ 【目標】10件
	小学生向けすいせん図書リスト等のブックリストの作成・配布等による、本情報の発信	
	「ジュニア司書養成講座」の読書リーダーによる子どもの視点に立った読書推進	



取組の方向性2 小・中学生の読書活動の推進(つづき)

⑥読書への興味・関心を高める読書体験の推進		
事業	内容	数値目標
読み聞かせ・おはなし会等の実施	学童クラブ、ふっさっ子の広場等での読み聞かせ・おはなし会の実施	*出前おはなし会・ブックトーク等の実施回数 【現状】1回 ➔ 【目標】5回
	学校、学童クラブ、ふっさっ子の広場等に図書館職員や図書館おはなしボランティアが訪問する出前おはなし会の実施	
	特定のテーマで本を紹介するブックトークや、発表者が紹介した本に参加者全員が投票してチャンプ本を選ぶビブリオバトルの実施・支援	
	図書館員や図書館おはなしボランティアが、小学1年生を対象に絵本の読み聞かせ、手遊び、図書館利用案内等を行う、「としょかん出前おはなし会ぶっくん」の実施	
⑦自主的な学びの支援		
事業	内容	数値目標
課題解決への支援	調べものに役立つ資料を収集した「調べ学習コーナー」の提供	*時代に即した調べものガイドの作成 【現状】未作成 ➔ 【目標】1回
	調べものガイドやパスファインダー等の作成・活用による課題解決の支援	

取組の方向性3 ヤングアダルトの読書活動の推進

⑧世代に合わせた読書活動の推進		
事業	内容	数値目標
子どもの視点に立った読書活動の実施	「ジュニア司書養成講座」の読書リーダーによる子どもの視点に立った読書推進	*読書リーダー活動 参加人数 【現状】39人 ➔ 【目標】50人
図書館業務体験の実施	図書館に興味を抱くきっかけづくりとして、職場体験・ボランティア体験の受入れ	
学校に向けた働きかけの推進	高等学校へのブックトーク等の実施・支援	

取組の方向性3 ヤングアダルトの読書活動の推進(つづき)

⑨将来にわたる読書のための環境づくり		
事業	内容	数値目標
利用しやすい図書館づくり	おすすめの本、季節ごとの読み物等の展示	*ヤングアダルト交流イベントの実施 【現状】未実施 → 【目標】1回
	ヤングアダルトのニーズに応じた図書を収集した「ヤングアダルトコーナー」の提供	
イベントの実施	本をきっかけにした交流や、図書館来館を促進するイベントの実施	
本情報の発信	ヤングアダルト向けすいせん図書リスト「ZANMAI」等のブックリストの作成・配布等による、本情報の発信	
⑩課題解決への支援		
事業	内容	数値目標
課題解決に向けた資料収集・提供	就学進路や資格取得など、将来を考えるうえで必要な情報を収集した「ヤングアダルト課題解決コーナー」の提供	*「ヤングアダルト課題解決コーナー」の展示回数 【現状】1回 → 【目標】2回
	学習や就学進路などさまざまな調べものの相談や調べものに役立つ本のリスト等の作成・活用と課題解決の支援	

取組の方向性4 多様な子どもへの読書環境の整備

⑪多様なニーズに合わせた資料の充実		
事業	内容	数値目標
アクセシブルな資料の充実	読書をするのに支援が必要な子どものため、さわる絵本、点字図書等デジタル資料も含めた様々な資料の充実	*「多文化コーナー」の所蔵冊数 【現状】997冊 → 【目標】1,050冊
	日本語図書の利用が難しい外国語を母語とする子どものため、様々な言語の図書を収集した「多文化コーナー」の提供	
利用しやすい図書館づくり	特別な配慮を必要とする子どものニーズに応じた形態の資料を収集した「りんごの棚」の提供	
⑫多様な子どもへのサービスの充実		
事業	内容	数値目標
読書機会の提供	図書館の来館が困難な子どもへ読書機会を提供するため、病院など関連施設への団体貸出の実施	*関連施設への団体貸出冊数 【現状】300冊 → 【目標】400冊
	図書館の来館が困難な子どもへの図書館資料の宅配、点字・音訳資料の郵送などのサービスの提供	



取組の方向性5 読書活動推進の基盤づくり

⑬デジタル社会に対応した読書環境の充実

事業	内容	数値目標
電子書籍の提供	自宅でも利用できるアクセシブルな資料である電子書籍の充実	*ふっさ電子図書館閲覧数 【現状】52,041回 ➔ 【目標】52,500回
ICTを活用した図書館サービスの利便性の向上	ICTを活用した図書館サービスや取組の実施、本情報等の提供	

⑭情報発信と広報活動

事業	内容	数値目標
情報発信と広報活動の推進	子ども読書の日及び子どもの読書週間事業の推進	*図書館ホームページ（こどもページ・ヤングアダルトページ）のアクセス数 【現状】16,000回 ➔ 【目標】20,000回
	図書館ホームページ（こどもページ、ヤングアダルトページ）での本情報の発信や、主催事業の案内等の充実	
	読書の大切さや楽しさを伝える子どもの発達段階に合わせた効果的な広報活動の実施	

⑮読書活動を支える体制づくり

事業	内容	数値目標
学校図書館における人材育成	司書教諭と連携して小・中学校の読書推進を行う学校司書の配置と研修	*図書館おはなしボランティアが行った活動事業数 【現状】15事業 ➔ 【目標】18事業
	小・中学校の学校司書が学校図書館運営や選書などについて情報交換を行う打ち合わせ会議の開催	
	書架整理、読み聞かせ等の活動を行う学校図書館ボランティアとの連携	
地域における人材育成	ボランティアで読み聞かせ活動を行う個人・団体への大型絵本、おはなし会用グッズの貸出し	*図書館おはなしボランティアが行った活動事業数 【現状】15事業 ➔ 【目標】18事業
	図書館や各施設等のおはなし会で活動するボランティアを育成する講座の実施	
	子どもの視点に立った読書活動を行う読書リーダーを養成する「ジュニア司書養成講座」の開催	
図書館における専門性の向上	国・都立図書館が開催する図書館職員研修等への参加や、内部研修の実施	
市内施設等への図書配達	図書館から市内施設等へ団体貸出の本を配達する図書等配本事業の実施	

